



しんきろうは、なぜ起きるの

光のくっ折(曲がること)によって起きる

光は、空気中から、ガラスや水などちがうものの中を通るときに、くっ折したり、反射したりします。しんきろうは、光のくっ折によって起きるものです。

しんきろうは、温かい空気と冷たい空気が、混じりあわないで接しているところを光が通り、光がくっ折してできます。このように、光がくっ折して進むと、いつもは見えない遠くの景色が、空中にういて見えるようになります。

富山湾でときどき見られる

富山湾のしんきろうは、昔からよく知られていて、ときどき見られます。しんきろうは温かい空気が上、冷たい空気が下のときと、冷たい空気が上、温かい空気が下のときの両方にできます。

温かい空気が上になっているときを「上のしんきろう」、これにたいして、温かい空気が下になっているを「下のしんきろう」といいます。(監修・村山 貢司)

